

今夏の省エネ取組内容（R6年度）

【公募委員】

分類	省エネメニュー	公募委員 A
エアコン	① 室温28℃ を心がける。（設定温度を2℃上げた場合）	8
エアコン	② すだれやよしすなどで窓からの日差しを和らげる（エアコンの節電になります。）	9
エアコン	③ 無理のない範囲でエアコンを消し、扇風機を使用する。	5
冷蔵庫	④ 冷蔵庫の設定を「強」から「中」に変え、扉を開ける時間をできるだけ短くし、食品を詰め込みすぎないようにする。	9
照明	⑤ 日中は不要な照明を消す。	9
テレビ	⑥ 省エネモードに設定するとともに、画面の輝度を下げ、必要な時以外は消す。	9
温水洗浄便座	⑦ 温水のオフ機能、タイマー節電機能を利用する。	9
温水洗浄便座	⑧ 上記の機能がない場合、使わない時はコンセントからプラグを事友く。	
ジャー炊飯器	⑨ 早朝にタイマー機能で1日分まとめて炊いて、冷蔵庫や冷凍庫に保存する。	
待機電力	⑩ リモコンの電源ではなく、本体の主電源を切る。長時間使わない機器はコンセントからプラグを抜く。	
エアコン	フィルターをこまめに掃除する。	9
エアコン	2部屋でそれぞれ使用している場合には、1部屋（1台）に減らして使用する。（仮に、350Wを2台を使用している場合、約30%の節電奏力果となります。）	
冷蔵庫	壁との間に適切な間隔を空けて設置する。	9
電気ポット	お湯はコンロで沸かし、ポットの電源は切る。	9
洗濯機	容量の80%程度を目安にまとめ洗いをする。	9
パソコン	日中・短時間であればノートパソコンの電源を抜いて使う。	
パソコン	省電力設定を活用する。	9
掃除機	紙パック式はこまめにパックを交換する。	
掃除機	屋間のピーク時はモップやほうきを使う。	
ライフスタイル	節電のための家事スケジュールを立てる。日中（特に13時～16時）を避けて電気製品を使用する。	
ライフスタイル	外出や旅行による節電。	
契約見直し・見える化	契約電力の見直し（節電料金メニュー、適切なアンペア設定等）	
契約見直し・見える化	電力会社のウェブサイトに登録頂き消費電力を「見える化」	9
有効取組項目数		13
合計点		112
平均点		8.6
評価		A